



## 2021年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年9月30日

上場会社名 日本エンタープライズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4829 URL https://www.nihon-e.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田勝典  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田中勝 TEL 03-5774-5730  
 四半期報告書提出予定日 2020年10月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年5月期第1四半期の連結業績（2020年6月1日～2020年8月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第1四半期	936	7.5	40	△50.9	42	△54.7	12	△80.7
2020年5月期第1四半期	871	12.4	82	155.1	93	113.6	66	1,052.1

(注) 包括利益 2021年5月期第1四半期 20百万円 (△72.6%) 2020年5月期第1四半期 76百万円 (746.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第1四半期	0.32	0.32
2020年5月期第1四半期	1.66	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期第1四半期	6,062	5,253	81.6	123.21
2020年5月期	6,200	5,326	80.9	124.91

(参考) 自己資本 2021年5月期第1四半期 4,944百万円 2020年5月期 5,013百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2021年5月期	—	—	—	—	—
2021年5月期（予想）	—	0.00	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年5月期の連結業績予想（2020年6月1日～2021年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	4,000	11.5	340	27.2	340	9.6	200	13.3	4.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業務管理を行っているため、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年5月期1Q	40,133,000株	2020年5月期	40,133,000株
② 期末自己株式数	2021年5月期1Q	一株	2020年5月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年5月期1Q	40,133,000株	2020年5月期1Q	40,133,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）2ページ以降の「経営成績に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるITサービス業界を取り巻く環境は、ビジネスの成長を目的としたIoT(注1)やAI(注2)等の活用拡大、企業の生産性向上に向けた業務プロセスの効率化、自動化等のRPA(注3)への投資意欲はあるものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による投資計画の見直し・抑制など、企業動向に一部影響が出ております。

これらの状況において、当社グループといたしましては、コンシューマ向けスマートフォンアプリ、システム開発、デバッグ、クラウド、業務効率化アプリ、モバイルキッティング、音声ソリューション、電子商取引(eコマース)、業務支援などのサービスを推進し、事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は9億36百万円(前年同四半期比7.5%増)、営業利益は40百万円(同50.9%減)、経常利益は42百万円(同54.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は12百万円(同80.7%減)となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による業績への影響につきましては、法人向け「ビジネスサポートサービス(クリエイション事業)」及び「ソリューション事業」において、感染拡大防止のための休業要請や外出自粛要請等による企業活動の停滞により、一部の案件において遅延が生じておりますが、企業のIT投資意欲は総じて高く、当社グループの業績に与える影響は軽微な状況となっております。

(注1) 「Internet of Things」の略。

モノをインターネットに接続して制御・認識などを行う仕組みを意味する。

(注2) 「Artificial Intelligence」の略。

人間の知的営みをコンピュータに行わせるための技術(いわゆる「人工知能」)を意味する。

(注3) 「Robotic Process Automation」の略。

認知技術を活用した業務の効率化・自動化の取組みを意味する。

各セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

## &lt;クリエイション事業&gt;

自社で保有する権利や資産を活用したサービスを提供する当事業は、一般消費者向け「コンテンツサービス」においては、通信キャリアが運営するプラットフォーム市場が縮小する中、引き続き、定額制コンテンツでの効率的な運用で収益確保を図るとともに、App StoreやGoogle Playなどの通信キャリア以外が運営するプラットフォームでのコンテンツの利用促進及び新タイトルの開発に注力してまいりました。また、鮮魚eコマース『いなせり市場』において、「巣ごもり消費」を契機とした利用者増加に伴い、サービスの拡充に取り組んでまいりました。

法人向け「ビジネスサポートサービス」においては、企業による業務効率化やクラウド活用が進む中、交通情報・教育・観光・調達・音声などの各種サービスの他、自社開発のサービスを活用した受託開発に注力いたしました。特に、キッティング支援においては、企業の根強い投資意欲を背景に更なる成長に向け大手企業を中心に積極的に同サービスを推進してまいりました。

また、一般消費者向け鮮魚eコマース『いなせり市場』が増勢に推移している一方で、飲食事業者向け鮮魚eコマース『いなせり』においては、拡販に努めてまいりましたが、外食を控える動きの影響を受けた飲食事業者からの注文が低調に推移いたしました。

以上の結果、クリエイション事業の売上高は4億92百万円、セグメント利益は1億60百万円となりました。

## &lt;ソリューション事業&gt;

法人向けシステムの受託開発・運用を主な業務とする当事業は、「システム開発・運用サービス」においては、企業のIT投資による市場拡大の状況下、スマートフォンアプリ及びサーバ構築の豊富なノウハウと実績が評価され、スクラッチ開発(注4)を中心としたアプリ開発、WEB構築、サーバ構築、システム運用・監視、デバッグ、ユーザーサポートなどクリエイション事業で培ったノウハウを活かした受託開発を推進してまいりました。

また、深刻化している人手不足問題にマッチした業務支援サービスは、大手通信キャリアを中心に積極的に営業強化する中、顧客のニーズに沿った優秀な人材の獲得、提供に注力することで大幅に伸長した他、新たな事業領域であるAI、IoT、セキュリティ関連サービスの開拓を推し進めてまいりました。

更に、今後拡大が見込まれる端末周辺事業を創出するべく、クリエイション事業で注力しているキッティング支援を核に、中古端末(スマートフォン等)買取販売の拡大に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う対策サービス・商材の開発・取り扱いを積極的に推し進めてまいりました。

以上の結果、ソリューション事業の売上高は4億44百万円(2018年5月期のセグメント変更以降、第1四半期連結累計期間における最高売上高を更新)、セグメント利益は23百万円となりました。

(注4) システム開発で、特定のパッケージ製品のカスタマイズや機能追加などによらず、すべての要素を個別に最初から開発することを意味する。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1億37百万円減少し、60億62百万円となりました。流動資産は、主に現金及び預金の減少及び受取手形及び売掛金の増加により前連結会計年度末と比較して1億33百万円減少し、52億31百万円となりました。固定資産においては、主に有形固定資産の減少及びソフトウェアの増加により前連結会計年度末と比較して3百万円減少し、8億30百万円となりました。

負債につきましては、主に未払法人税等及び未払消費税等の減少により前連結会計年度末と比較して64百万円減少し、8億9百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上がありましたが、剰余金の配当及び非支配株主持分の減少により前連結会計年度末と比較して73百万円減少し、52億53百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月期の連結業績予想につきましては、2020年7月10日公表の連結業績予想値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,715,635	4,571,087
受取手形及び売掛金	449,563	461,196
商品	7,782	7,198
仕掛品	76,329	58,769
貯蔵品	585	463
未収入金	2,570	4,623
その他	113,763	128,887
貸倒引当金	△454	△369
流動資産合計	5,365,774	5,231,857
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	19,691	18,727
機械及び装置(純額)	297,748	292,620
土地	12,400	12,400
その他(純額)	20,503	18,898
有形固定資産合計	350,343	342,647
無形固定資産		
ソフトウェア	285,078	290,514
その他	20,913	19,357
無形固定資産合計	305,992	309,872
投資その他の資産		
投資有価証券	56,936	55,680
差入保証金	73,787	73,449
繰延税金資産	44,446	46,216
その他	3,158	2,820
投資その他の資産合計	178,329	178,166
固定資産合計	834,664	830,686
資産合計	6,200,439	6,062,544

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	105,373	108,969
1年内返済予定の長期借入金	25,454	23,496
未払法人税等	59,466	27,574
未払消費税等	67,882	46,994
賞与引当金	—	7,650
役員賞与引当金	—	250
受注損失引当金	1,716	—
その他	306,107	291,159
流動負債合計	566,001	506,095
固定負債		
長期借入金	230,395	224,521
退職給付に係る負債	61,786	64,151
その他	15,477	14,338
固定負債合計	307,659	303,011
負債合計	873,660	809,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,108,017	1,108,017
資本剰余金	984,572	984,572
利益剰余金	2,918,043	2,850,626
株主資本合計	5,010,632	4,943,216
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,523	1,651
その他の包括利益累計額合計	2,523	1,651
新株予約権	4,186	4,375
非支配株主持分	309,436	304,194
純資産合計	5,326,778	5,253,438
負債純資産合計	6,200,439	6,062,544

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
売上高	871,704	936,936
売上原価	484,999	563,520
売上総利益	386,704	373,415
販売費及び一般管理費	304,203	332,905
営業利益	82,500	40,510
営業外収益		
受取利息	53	27
受取賃貸料	333	333
業務受託手数料	150	150
補助金収入	10,415	2,000
その他	1,292	338
営業外収益合計	12,244	2,848
営業外費用		
支払利息	755	697
為替差損	79	21
支払手数料	88	98
その他	66	66
営業外費用合計	988	884
経常利益	93,756	42,474
税金等調整前四半期純利益	93,756	42,474
法人税、住民税及び事業税	17,643	22,108
法人税等調整額	△258	△1,385
法人税等合計	17,384	20,723
四半期純利益	76,372	21,751
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,844	8,901
親会社株主に帰属する四半期純利益	66,527	12,849



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	76,372	21,751
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49	△871
その他の包括利益合計	△49	△871
四半期包括利益	76,322	20,879
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,477	11,978
非支配株主に係る四半期包括利益	9,844	8,901

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響に関する会計上の見積りの仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2019年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計 (注)
	クリエイション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	552,396	319,307	871,704	—	871,704
セグメント間の内部売上高又は 振替高	22	11,267	11,289	△11,289	—
計	552,419	330,574	882,993	△11,289	871,704
セグメント利益	178,393	45,432	223,826	△141,325	82,500

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△141,325千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年6月1日至2020年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計 (注)
	クリエイション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	492,100	444,835	936,936	—	936,936
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	5,421	5,421	△5,421	—
計	492,100	450,257	942,357	△5,421	936,936
セグメント利益	160,119	23,975	184,094	△143,584	40,510

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△143,584千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。